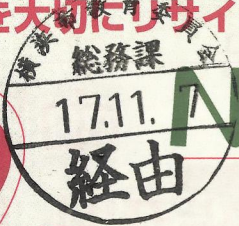


月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザイン

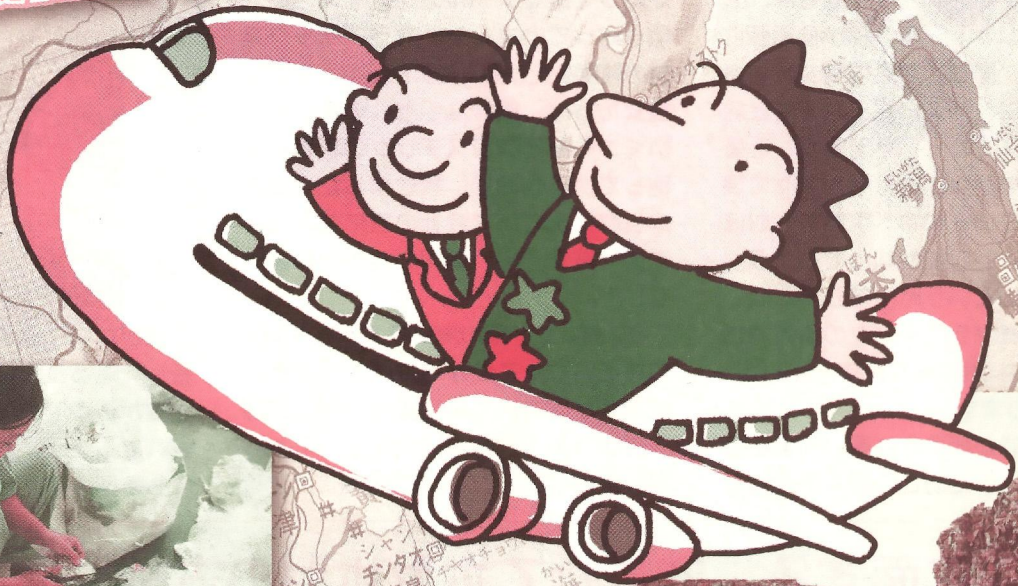


No.134 2005.11

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

特集

中国江蘇省の最新型リサイクル工場を見学して



- 教えて聞かせて 温暖化対策を学校で風車の回る屋上は発電所... P3
- リサイクルデザイナー... P4
- ただいま子育て奮闘中!... P5
- カートカンを知っていますか?... P6



中国江蘇省の最新型リサイクル工場を見学して



まずは廃プラスチックの再生工場へ

江蘇省は、上海の西から北西に位置します。陽気で活気に満ちた上海の街をあとに、バスに揺られること約2時間。車窓には、「廃品回収」と書かれた看板をかかげる家々が次々に現れては消えていきます。家族で営むほどの小規模な回収業者なのでしょう。やがて、^{クンshan}昆山という町に着きました。ここには、廃プラスチックの再資源化工場『昆山共同再生資源開発有限公司』の工場があります。

ビニール袋が無造作に置いてある建物の中では、まだ幼さの残る女性たち

が貼ってあるシールの部分をはさみで切り取っていました。プラスチック素材の純度を上げるために必要なですね。彼女たちは、微妙な手触りの違いで、いくつもあるプラスチックの種類を選別していると聞き、驚きました。地方から町に出て来て会社の寮に住み込んで働く彼女らの、満面の笑顔が印象的でした。

3年前にも、別の廃プラスチック再生工場を訪ねたことがありますが、そこは地面がむき出しの工場で、衛生状態も良いとはいえないものでした。しかし、この3年間に中国では環境保護に関する



ひとつひとつハサミで切り取る。たいへんな仕事だな



意識がだいぶ高まってきたようです。新しく造る工場には、排水処理施設の設置が法律で義務付けられたのもその表れでしょう。当然ながら、この工場にも新型の排水処理施設がありました。

運河に面する、できたてホヤホヤの古紙問屋

とうとうたる大河・揚子江に面した^{ナントン}南通市は、江蘇省の中核都市のひとつ。ここと対岸の常熟市とを結ぶ^{チャンsu}蘇通大橋が2008年に開通する予定で、これに先がけて市は工業化の推進を急いでいます。工業化に伴って大量の古紙も発生するので、リサイクル産業を市の主要産業にしようという声も上がっています。

そんな中、今年9月に開業したのが『南通捷紅資源再生有限公司』です。昆山からは、バスで4時間、カーフェリーに乗り継いでさらに30分ほどかかります。少し旅の疲れも味わいつつ、の見学となりました。

ここは、日本の商社・丸紅を主とする投資会社と、中国南通市の化学品を扱う会社が共同出資してつくった大規模な古紙問屋です。運河に面しており、船による大量輸送に適しています。工場の中には、古紙を梱包する機械と、種類別に梱包（大きさは1m×1m×2m、約1000kg）されたものがどっかりと腰を下ろしています。これまで、中国では家内工業的な回収業者が主流でしたから、このように大きな梱包にすることは一般的ではありませんでした。しかし、再生工場に輸送する場合、梱包されていたほうが扱いやすく、商品価値が上がります。



古紙を圧縮して大きなブロックにするんだ

中国のリサイクル業者の先陣を切って、最新技術を取り入れた工場と言えます。この工場に期待されているのは、中国国内で発生する古紙のリサイクルと、日本から届くオフィス古紙（企業が出した古紙）の選別だそうです。

広大な中国の広大な再生工場

最後は、昆山と南通の間に位置する常熟市にある、古紙再生工場『江蘇理文造紙有限公司』。ここでは、古紙を段ボールに加工しています。向こうが見渡せないほど広い敷地内には、20万トンもの古紙がストックされていました。ぎゅうぎゅうに、うずたかく積み重ねられているわけではなく、さりげなく置いてあるその量が20万トンです。横浜市で、昨年1年間に資源回収で集められた古紙の総重量が14万トンだった、ということを重ねて想像してみてください。恐るべし、中国の巨大さです。

案内してくれた人によれば「日本の古紙はアメリカやヨーロッパと比べ、とても良い状態ですから、これからも維持してください」とのこと。日本国内の場合と同じで、やはり汚れていたり異物が混ざっていたりすると再生できないので、たいへん困るそうです。



向こうの果てが見えないほどの広さ



よく見ると日本語が印刷されているよ

Mr.Rが思うこと



プラスチックの受け入れが再開されたのは、日本側が今後の輸出の際の適切な処理を保障した、つまり「もう、ダメなものを混ぜません」と約束したから。ほんのわずかな人たちのいい加減な気持ちが、日本全国から集まる廃プラスチックの行方をささぎったという経験を、今後にきちんと活かさなくてはいいけない、約束を守らなくてはいいけないと思いました。古紙だって、状態が悪ければ、いつ受け入れを拒否されるかわかりません。地球規模でのリサイクルの輪をつくらなくては日本はもうやっていけない、という現状を、ひとりでも多くの市民、いえ、国民に知ってほしいと思います。リサイクルの未来は古紙が生まれる家庭と企業のマジメさにかかっているんです。



教えて、聞かせて

温暖化対策を学校で 風車の回る屋上は発電所



夏から秋にかけて大型台風がやってきて、九州地方やあちこちで大きな被害がありました。アメリカではハリケーンが南の海岸をおそう、すさまじいニュースが刻々と伝えられました。年々大型化するこれらの熱帯性低気圧などの気候変動は地球温暖化のせいではないかと考えられています。

“ストップ温暖化!”をテーマに、9月半ばパシフィコ横浜でアジア、太平洋を取り囲む国々が集まり、国際会議が開かれました。6日間にわたり各国の現状や対策、市民やこどもにどう伝えるかが話し合われ、ブータン国の代表は氷河が溶けて洪水が起きやすくなっていると報告。ミクロネシア共和国代表は海水面が上がって島が沈んでしまう恐れを訴えました。一方、温暖化を進める二酸化炭素をたくさん出している先進諸

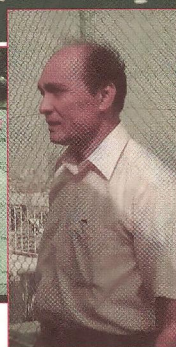
国はどうしたら減らせるのか、京都議定書の取り決めで約束した削減量達成できないときは、二酸化炭素を多く出さない国からその分を買取り、自国の排出量から差し引く話もしていました。



西区の富士見丘学園は、早くから省エネルギーや省資源を環境教育に取り入れている中高等学校です。熱心に取り組んでこられた丸茂高先生に、その内容を教えていただいたところ、「まず学校の先生に環境への関心をもってもらいたい」から始まりました。

丸茂先生の環境教育とは、なぜ省エネ・省資源なのかを生徒が理解できるよう、初めによく伝えるのだそうです。神奈川県が全国の1/10のエネルギーを消費していること、1日1人30リットルしか水を使えない国と1回のトイレに10リットルを流す国の経済格差、平均気温が上がる仕組みなどの説明に、生徒たちは驚くそうです。テレビどころか、電気を使えない人々が世界には20億人もいること、学校へ行くお金がなくて文字が読めない人たちは、薬の説明が理解できないためとても危険だと聞くとショックさえ感じて、生徒たちは自分にできることを始めようと考えます。丸茂先生は「世界で起きている事実を知ることが大切」と言います。

丸茂先生が1,000人規模の市立中学校校長をしていたころ、教育委員会から年間支払っている光熱費の連絡があり、3,500万円もの金額にびっくりしました。



▲ 丸茂先生

そのことを生徒たちに率直に伝え、空き教室の蛍光灯を消すなど省エネを呼びかけたところ、すぐに10%の光熱費が減りました。富士見丘学園に移ってからも省エネの意味を伝え、生徒会が実践活動を始めました。学級委員がエアコンの温度設定を高めにし移動教室時に蛍光灯を消す、学級に古紙回収箱を置く、使用済みのポットで植物を育て学園祭で売り、タイ、ラオスの未就学児に1人1万円/1年分の奨学金を送る、不用の上履きをベトナムへ送るなど、身近にできることが日々進んで行われているそうです。トイレには2度流しを防ぐ音消し装置を取り付けた結果、なんと水の使用料が半分に減りました。

2001年には国から助成を受けて、屋上に3機の風力発電機と太陽光発電機を設置しました。自然エネルギー発電システムを設置するには、膨大な資金と場所が必要ですが、省エネはただで誰にでもできます。しかも節電効果は発電量をはるかに越え、1年間で220万円にもなりました。丘の上の校舎に風車が回る光景は、温暖化を食い止めようという意志を表す象徴、まずは省エネなのでした。

ササキミチコ



ソーラーパネルを見上げる生徒たち

料理 の 常識

料理
の
常識

料理
の
常識

ただいま子育て奮闘中！

その32

プロフィール

● 鶴田由紀 横浜市在住 訳書（共訳）に「生物多様性の危機」（ヴァンダナ・シヴァ著 明石書店）。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。

流水で洗う？

私は1970年代に小学校教育を受けましたが、当時の家庭科という科目では食器も野菜も合成洗剤で洗えとか、ずいぶんめちゃくちゃなことを教えていました。野菜は流水で洗えというのは、今でも料理の常識になっているようですが、有機栽培の土つき野菜を使っていると、それがいかにもったいないことがわかります。

大根の葉っぱや枝豆や蓮根など、土がこびりついたり洗うところが多かったりすると、流水でなんか洗っていたら水が大量に必要です。まずはボールに水を溜めて野菜をつけてから洗う方が合理的。今にして思えば、家庭科の野菜は土のついていないスーパーの野菜だったのでしょう。

豆を煮るときには、やわらかくなるまで火を止めず、ずっと鍋に張り付いているというのも、保温調理を知った今では、とてつもなく非効率的に思えます。大豆でも黒豆でも、ふきこぼれ

る前に火からおろして、鍋をバスタオルで包んでおく。煮汁が冷めてきたら、また加熱して沸いたら火を止めて、と

数回繰り返せば、豆なんて簡単に煮えてしまいます。トータルの調理時間はちょっとかかりますけど。

料理番組のウソ

家庭科の教科書にテフロンを使えと書いてあったかは忘れましたが、テフロン加工の調理器具は、今や日本を席卷した感があります。テレビコマーシャルもさることながら、料理番組で料理のセンスイが必ずといって良いほど

テフロン加工の鍋やフライパンを使っているの、日本人の大半はおいしく料理を作るための必需品と誤解しているかのようです。

テフロン加工の調理器具を空焚きすると有毒ガスが発生する恐れがあるということは、以前書きましたが、これを吸い続けると「ポリマーガス熱」という症状を引き起こすんだそうです。メーカーの工場労働者には1950年代からこの症状が見られ、60年代からはガスマスクをつけて作業をしているとか。メーカーは現在、健康被害があること

を隠していたということで、アメリカの消費者団体から集団訴訟をおこされているそうです。

鉄製の中華鍋で調理したほうがダンゼンで美味しくなるとも以前書きましたが、その動かぬ証拠がテレビで毎日のように放映されています。美味しいお店紹介番組で調理場が映るとき、コックさんや板前さんがどんな鍋やフライパンを使っているか、よく観察してください。必ず、テフロン以外の、鉄や銅や土鍋や、とにかく昔からある調理器具を使っていることにお気づきになるはずです。

料理番組のセンスイ方は、テレビではテフロンを使ってくださいと誰かに頼まれているのでしょうか？料理の専門家であれば、料理が美味しくできる調理器具を使うはずだと思うのですけどね。皆さんおうちに帰れば、きっと鉄や銅の鍋をお使いなんでしょう・・・。

＊生活クラブ事業連合生活協同組合事業連合会『生活と自治』2005年9月号

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格441円

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレットペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくなるんですね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。パーキンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレットペーパーだと大丈夫なの」（実話です）。

注文受付は1ケース（48コ入＝6コ入りパック×8）より1ケース 3,528円（消費税・配送料込み）

※振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！（横浜市の支出命令書も使えます）

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・444・2531 FAX 045・444・2532

テーマは環境への思いやり、できることから一歩ずつ

横浜高島屋 総務部庶務担当

部長 城戸光男さん
係長 河合正祥さん



▲ 部長の城戸さん（右）と係長の河合さん

横浜市の花はバラ。そしてバラの包みの～と言えば横浜駅西口にある高島屋です。今回、話を伺ったのは環境社会貢献担当の城戸さんと河合さん。高島屋が環境に取り組むきっかけとなったのは平成12年にISO14001の資格を取るために準備を始めたことから。13年2月にはISOを取得し、今年で4年目となりました。取り組んでいるのは省エネルギー、節水、廃棄物の削減とリサイクルの促進、省資源、環境にやさしい商品の拡大、物流車両への配慮、環境リスクマネジメントと業務の全てに関わり多岐にわたります。そしてそれぞれの項目について毎年目標値を定め、実現してきました。



▲「高島屋環境方針」冊子とごみ分別表

Q 500もある売り場と、さまざまな部門を持つ大きな企業の中で、各人に環境に配慮する意識を行き渡らせることは大変だったと思いますが？

「月に1度、環境保全委員に任命されている店長、各部門長が集まり、その月の環境への取り組みがどうであったか、反省、報告をしています。そして月に1度発行している『ISO14001』で、今月の『環境デー』のテーマとともにその内容は従業員に伝えられています。また、社員をはじめパートで働く人たちも携帯している冊子「高島屋環境方針」には、年度の各部門別の環境目的と方針、さらに個人が日常業務の中で環境に取り組む目標を、5つの項目別書き込むようになっています。こうしたシステム作りが、環境への思いやりを実践していくために重要なのではないのでしょうか」

城戸さんの冊子には「2枚以上のコピーは両面印刷する」「閉店後は速やかに消灯する」と鉛筆で書かれてありました。鉛筆で書くのは、その冊子を次年度また使うための工夫です。また、ごみの分別表は携帯に便利な名刺サイズ。アルバイトで働く人たちにも配布されています。

横浜店での取り組み

500円で購入できるマイバックは半年間で3000枚を売り上げ、高島屋グループ1番を誇ります。それだけ横浜のお客さんの意識が高いということ。

「よこはまG30が施行されたこともあり、お客様がグリーンコンシューマの意識を持っていられるので、私たちもそれにこたえていかなければと思っています。また私たちもG30の一端を担っているように努力しています」

食料品売り場でニューオープンしたお酢の店で空き瓶回収のリサイクルに取り組んだり、壊れた傘の回収をしてリサイクルに廻したりと積極的に環境に向き合ってきました。

「商品タグも今は金具がついていたりプラスチックがついていたりで、きちんと分別ができていないのですが、いずれは改善していきたいと思っています」

高島屋の環境方針である「できることから一歩ずつ」は環境への思いやりを示す1番の近道なのかもしれません。

※ グリーンコンシューマ

地球環境を破壊しない商品、環境保全に貢献している企業製品を購入しようという消費者。

環境を考えるなら、
まず自分の“手元”から

デザイナー新、一目でわかる
“リサイクルブランド”

牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす
→リサイクルデザインボックス
ティッシュに→使う

残念ながら
一度使ったティッシュは
リサイクルには向きません。
使い捨てなら再生品を！

リサイクルデザイン ボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50組入り（5個1組×10パック）3,675円（価格は市内送料・税込みです）
※ご注文は1ケース以上をお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり3,465円になります。1パック（5個）あたりに換算すると347円から368円です。
※市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない！ティッシュは使い捨て!?
だから作りました
“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック（50個）は、多すぎる」
と思ったあなた。グループ購入という
方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1軒（1家族）
あたり2パック（10個）というほど良
い数。町内会や子供会などおおぜいの仲
間を集めれば、一度に大量購入もできる
かも。11ケース以上だと、お得な割引
価格になります。玄関先までお届けします
ので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話/045-444-2531
FAX/045-444-2532

うれしい
ニュース
です!

環境絵日記が“元気大賞”を受賞しました

過去5年間にわたって続けてきた環境絵日記の取り組みが評価され、昨年のリサイクルデザインフォーラムが『市民が創る環境のまち“元気大賞”2005』の奨励賞に選ばれました。元気大賞とは、NPO法人・持続可能な社会をつくる元気ネットが、パートナーシップ精神で持続可能な社会づくりを実践する市民グループに贈る賞です。循環型社会の形成に向けた取り組みを対象として選出し、優れた先進事例を広く社会に紹介しようという目的でつくられました。

10月1、2日、長野県の大町市で開かれた『全国サミット in 信濃大町』のなかで表彰式がおこなわれ、組合のメンバーから2人のスタッフが参加しました。この時、環境絵日記の活動を市民と子どもたちに広め、伝えていく意味について事例報告を行ないました。全国から集まった総勢160名を超える参加者による意見交換も、たいへん熱心なものでした。



▲事例を報告する栗原清剛・フォーラム実行委員長

それ行け! りくみちゃん【第11話】

1 リサイクルデザインをお読みのみなさん! 今日はこちらの「へらソウ★シューズ」をご紹介します!

「かっこいいソウ!」

2 ちょっと遠くに行きたい...でも車は使いたくないな~という時は...

「おへ! 早いソウへ!!」

「へらソウ★シューズが」

「走り出す!」

3 体重を減らしたいな~という時は...

「シ〜シューズが重くなって...いい運動になりますソウ!」

「ずっぴり...」

4 でも、家計費を減らすのは、シューズでは無理のようで...

「うへん...これはシューズの力では減らせなくみね...へらソウ電のおこづかいを減らすくみ!」

「Z~」

作・勝野真美

紙製容器を買って、使って、森を育てよう

カートカンを知っていますか?



紙製容器のニューフェイス“カートカン”を見たことがありますか? コンビニやスーパーの飲料売り場に、小さな円柱型のパックがズラッと並んでいますね、そう、それがカートカンです。これって、少し前まではコーヒーぐらいしか見かけませんでしたが、最近はジュース、ココア、お茶、乳飲料と種類豊富です。

近年の日本では、木を切っても売れないから(外国からの輸入材が安いから)という理由で放置されたままの森林が多く存在します。放置された森は陽が射さず下草も生えず、やがて荒れ果てていきます。荒れた森は大水や土石流をまねき、川や海を傷めます。木が吸収する二酸化炭素も減り、地球温暖化を進めてしまいます。これを免れるには、森を生かさなくていけない、森の材を活かさなくてははいけないのです。

カートカンの原料は、30%が国産材です。森の材が生きています。

日本の森林に対するカートカンの環境特性

- カートカンの消費が増えると間伐材の有効利用が拡大し、森林の間伐(手入れ)が促進される。
- カートカンを使うと山に資金が還元される。つまり、国内の森林整備費用の一部を消費者が適正に負担することにつながる。
- カートカンの売り上げの一部は、国内の森林整備を行なうボランティア団体やNPOの活動資金にあてられる。

本誌132号で『ナウシカの会』出前講師の関邦春さんや、133号で『職人の森』の小田原健さんが言っていたように、間伐材を使うのは地球の環境を守るためにとても大切なことです。週末に郊外の森に出かけて手入れのボランティアをする、という貢献のしかたもありますが、都市に住む私たちが日常的にできる事は何でしょう。できるだけ国産材でできたものを買って、使い続けることによって森を育てる……というのが一つあるのではないのでしょうか。(バックナンバーのご要望は本誌編集室までどうぞ)

なお、カートカンをリサイクルに出すときは、開いて洗って乾かして紙パックと一緒に出ししましょう。

参考: 森を育む紙製飲料容器普及協議会
「森林育成で生じる間伐材や端材を有効活用した紙製飲料容器を普及させること」の重要性を広く啓蒙することを目的とした協議会
<http://www.morikan.jp>

「ヨコハマはG30」 エコフェスティバル にぎやかに開催

10月8日(土) 於: パシフィコ横浜・アネックスホール

横浜市では、横浜G30プランの「ごみ排出量30%削減」を目標に、市民・事業者の皆さんと協働し、ごみの減量・リサイクルに取り組み、環境行動都市の実現を目指しています。今回のエコフェスティバルは、「ウェステック 2006 廃棄物処理・再資源化展」が2006年8月に横浜で開催されることを広く市民・事業者に伝えるために開催されました。

ウェステックとは

廃棄物処理・再資源化の技術と今後の方向を総合的に展示する、廃棄物に関する国内の代表的な展示会で、2006年の横浜開催で第16回目を迎えます。

オープニングに「モーニング娘。」登場!

フェスティバル会場で行なわれたオープニングセレモニーには、G30広報大使をボランティアで受けている人気グループ「モーニング娘。」のメンバーが勢ぞろい。元気に「一緒にごみを減らしましょう」と呼びかけ、オープニングを盛り上げた。

中田市長もあいさつの中で「市長が呼びかけるよりずっと効果がある」と「モーニング娘。」の協力に感謝していた。オープンセレモニーのあとで、ウェステック実行委員会より、ウェステック事業の説明がおこなわれた。会場には大勢の市民が参加し、その後の横浜創英高校のダンスやフリーマーケットなどアトラクションを楽しんでいた。

フリーマーケット



創英高校のダンス

拡大分別の説明コーナー



ヨコハマはG30のブース



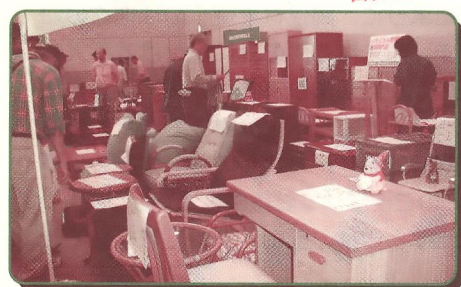
エコフェスティバルに参加したのは20団体。出展者ブースには、自然保護団体、企業等と一緒に横浜市から水道局と資源循環局が出展した。「ヨコハマはG30」のブースは2か所に分かれ、拡大分別の説明コーナーと横浜市の焼却工場をパネルで紹介し、6か所の工場の名前と写真をつなげるクイズに人だかりができ、ごみ減量・リサイクルに対するの市民の関心の強さを物語っていた。

出展者ブース



ポスターコンクール表彰式

市内の小中学生を対象に、環境問題への関心を深めてもらうことを目的に行なわれているポスターコンクールの今年のテーマは「ヨコハマはG30～ごみの減量。リサイクル、きれいなまちに」。上位入賞者の作品の展示と表彰式が行なわれた。



リサイクル家具類の抽選販売

和Ⅱ環の生き方を追求する日本の職人集団

人も動物も、木や草も山も海もみんなつながっているという”環”の考え方を広めたい、という思いから結成されたNPO職人の森。 ”環”について、職人の立場から熱く語るふたりの声に耳を傾けてほしい。

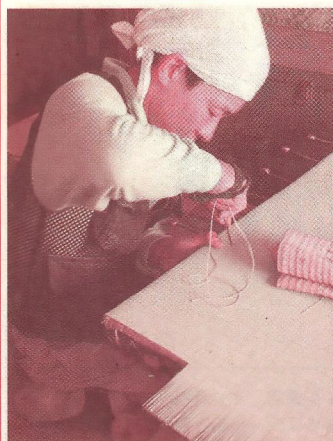
”環”の暮らしを創ろう

蓑島（以下・蓑） NPO職人の森のメンバーになった理由……、ガンコ親父になりたかったんだよね。今の家って、売ったり買ったりするものになっっているでしょう。しかし本来、家は買うんじゃないでいいかな。 ”建てるモノ”なんだよね。ガンコと言われようとも、そういうことを「おかしい！」て声を上げようと思ったんだ。砂川（以下・砂） そうそう。売り買ひするモノだから、20年、30年で簡単に壊して造り直してしまふ。解体したあとには大量のごみが出ますよね。昔は壊した家の柱や梁の立派な木などを、きちんと使い回

していた。畳なんか、すべて自然の素材でできたものだから、使い終えたら牧場なんかで置いとけば牛や馬が食べてくれた。でも、最近の畳はウレタンなんかが使われているから、そうはいかない。おかしいですね。 蓑 江戸時代までの古い日本家屋は、壊してもごみが出なかった。和の家は循環する、つまり和Ⅱ環だったんだよ。でも、洋風の暮らしにどっぴりつかってしまった現在、和の暮らしは影をひそめつつある。日本の職人たちがいつか消えてしまうんじゃないか、っていう不安がふくらんでいるんだ。

砂 和の家を求める人が大勢いたら自然と技は伝承されるけれど、需要がなくなっちゃ職人も生きて行けないですからね。 蓑 だから、施主に和Ⅱ環の暮らしのすばらしさを知ってもらおうのが、NPO職人の森の使命の大きな柱。同時に、職人自身にももっと誇りをもって仕事に精進してもらえよう働きかけていこう、という目的もある。施主と職人ともに学び、成長していくパートナーなんだ。

蓑島良一氏（右下）／大磯町在住の建具職人。県建具協同組合の県産木材開発事業室長。
砂川貴幸氏（左上）／相模原市在住の3代目畳職人。県畳工業協同組合員。



砂 和の家を求める人が大勢いたら自然と技は伝承されるけれど、需要がなくなっちゃ職人も生きて行けないですからね。



開催間近！



職人の森展2005 日本を代表する職人たちの “匠の技”にふれるチャンス

日時：11月3日（祝日）～13日（日） 9時～17時
会場：箱根彫刻の森美術館 アートホール
主催：NPO 職人の森

ご好評をいただいた昨年に続き、今年も職人の森が皆様と職人をつなぐイベントを開催します。21世紀の住環境や、地球基準のインテリアデザインを各分野の職人の技で表現するものです。桂離宮の襖を手掛けた京都府の『唐長』をはじめ、世界的にも高く評価された日本の伝統的な匠の技を、約50点の出展品を通じてご覧いただけます。

職人たちにあなたの夢を聞かせてください

NPO職人の森では、家作りの基礎から知りたいという人や「ハウスマーカークからこんな図面が出てきたんだけど、どうもピンと来なくて」などの疑問をかかえる人のために、コンサルティングを行なっている。熱い職人たちと語り合い、イメージを理想的な現実として開花させよう。

職人とは

職という字の字源をたどると「耳、身（からだ）、手で知り覚える意」とあります。今回登場したふたりは「職人とは技術をもつプロ」と言いました。プロフェッショナルは形容詞で、動詞は告白・宣告・主張するという意味。総合すると職人とは『五感と身で知り覚えた技を、世間に公言し、伝えていく人』ということに。日本の職人を列挙してみます。いくつ知っていますか？ 大工、石工、漆工、建具師、指物師、表具師、左官、鳶職、家具職人、畳職人、鍛冶屋、仏師、飾り職、研ぎ師、経師屋、陶工……

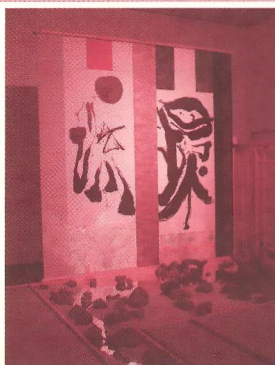
ちょっと
いっぴく

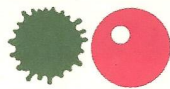
内容 匠の手になる木工品や家具の展示
新進気鋭の書道家・武田双雲氏による
『書のワークショップ（11日と13日）』
職人たちのトークイベント、
各種体験コーナーなど

お問い合わせ
職人の森 コンサルティングオフィス
横浜市中区本郷町3-167（株）ベル研究所内
電話&FAX 045-623-6441 <http://bellken.exblog.jp>

入館料
¥100割引クーポン

05.11.3-13
職人の森展開催期間中のみ有効





RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2005年9月現在
日経9/29

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くす	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす（250kgで）にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

編集室から

秋はイベントシーズンで、先日2つのイベントに参加させていただきました。その中の一つはアート縁日です。昨年同様今年も残念ながら雨で、2日間の予定が1日だけの開催でしたが、たくさんの人々！でした。

アート縁日は全国から造形・絵画・陶芸など様々な芸術を手がけるアーティストたちが集合し、お店を出すイベントです。リサイクルデザインのブースは異色の出店ではありますが、あいかわらず地道に分別体験です。が、久しぶりにパーフェクト賞が出ました！4ヵ月ぶりです。出したのは若い方でした。

市内全域で15品目の分別収集が始まったから、結構出るのかなーっと思っていました。が、なかなか出ないんですね。（こちらもひっかけ問題を作っているの……）

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集！

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

（リサイクルデザイン発行母体）では、協力会員（通称リサイクルデザインサポーター）を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料で送ります。

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物（古紙・空きカン等）がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等に活用ください。



詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル（鶴見日新ビル2F）●グリーンバザール（南区六ツ川）●地酒 篠原屋（港北区篠原）●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店●損保ジャパン横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安店・十日市場店・上星川店●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●カフェ社（港北区日吉）●きまま舎（緑区霧が丘）●うどんカフェ（青葉区こどもの国）●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生生活協同組合学生会館店・工学部店●神奈川県中小企業団体中央会（中区尾上町）●リセールショップ遊民●WEショップ旭●WEショップかながわ大口店●WEショップかながわ六角橋店●WEショップこうほく●WEショップほどがや天王町店●WEショップちがさき店●WEショップちがさき十間坂店●リサイクルショップブランカスタ（西区）

月刊 リサイクルデザイン No.134

発行日：2005年10月25日 発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合
 発行人：秋元康男 〒221-0054
 編集人：工藤健一 横浜市神奈川区山内町13番地
 編集室：戸川孝則・竹澤留美 TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532（編集室）
 広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継 制作：（企）エコ・アド
 杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛 印刷：（株）横浜プリント
 栗原清剛・大内 敦

